

会 議 録 (概要)

会議の名称	第１回　佐渡市立両津病院移転新築検討委員会
開催日時	平成２８年（２０１６）１１月１４日(月)14:00～15:10
場所	佐渡市立両津病院　２階講堂
議題	・両津病院の移転新築事業の経過について ・診療科について ・病院の機能について ・病院の病床機能と規模
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	参加者　医療介護・知識地域・行政　８名 事務局　両津病院管理部　小路管理部長 金子管理課長 三好庶務係長
会議資料	①次第 ②委員名簿及び要綱 ③諮問書及び答申書 ④津波浸水被害想定図 ⑤新病院の検討課題 ⑥佐渡市医療構想
傍聴人の数	０人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
副市長	○副市長（座長）あいさつ ・両津病院のあり方、機能や佐渡での役割の検討をお願いしたい。任務は要綱第２条に規定している。 ・議事録は概要のみ公開とし、詳細な内容については非公開。
事務局	○経過説明…小路管理部長 ・両津病院の移転改築を検討するに至った経緯について ・佐渡市医療構想の策定について ○両津病院の現状及び検討事項の説明…小路管理部長 ・診療科の現状

	・病院の機能について ・病床機能と規模について
委員	○質疑応答 ・これからの佐渡の介護・医療を支えるためには医療資源の確保が大事。人材確保には良い病院、きれいな病院といったハードを整備することも人材を集める魅力となる。
委員	・人材確保には研修や研究に関して佐渡ならではの魅力がほしい。
委員	・開業医の先生方が高齢となり、20 年後 30 年後に今の体制を維持するのは難しい。 公立病院がその代替として役割を担ってほしい。
委員	・新型インフルエンザ等のパンデミックがおきた場合、佐渡総合病院だけでは対応は難しい。
委員	・両津病院の機能別分類の点数に入院基本料を除くとあるが、加算等は全部除いてある点数かどうか？
事務局	⇒機能分類に用いたシステムでは、入院基本料・期間加算・看護体制加算等を除く 純粋な医療投入点数で算出しています。
委員	・基幹的な病院に医師を集め、地域の中で役割分担を進める中で、派遣や連携によって地域全体で医療を確保する取り組みが必要。
委員	・看護師不足はあるが、看護基準を落とすということは経営的に厳しい。看護基準が上位であると看護師にとっても負担は少ないし、やりがいも感じる面があると思われる。
委員	・基幹的な病院である佐渡病院が、高度急性期と急性期を担わざるを得ないが、回復期も持たざるを得ない状況。役割分担をした上で、両津地区においては、介護や在宅に戻れる方は両津病院が受け持ってもらいたい。
委員	・島内で回復期も含めた医療を完結できることが求められるが、両津病院では、リハビリ等の専門的なものは人員や設備的に難しい。
委員	・地域医療構想でいうところの回復期は、リハビリに特化したものではないと思われます。むしろ在宅医療や介護施設へつなぐ医療や、その後の訪問診療も含めた医療が佐渡市には適しているのではないか。
委員	・介護施設との連携、在宅との連携に関しては、両津病院を中心としたシステムができあがっている。
委員	・入院中に介護保険が必要になった場合には、両津病院に常駐するケアマネージャーが認定の相談にのれるため、介護への連携はできている。